

## 鷲見氏・鷲見郷一覽完成

令和4年5月29日の総会で、文化財保護協会が主体となって行う『鷲見氏・鷲見郷記念事業』が承認され、『鷲見氏・鷲見郷八二〇年記念事業』準備委員会が組織され、委員長に西脇清美文化財保護協会会長が選ばれ、副委員長に上村文隆氏、事務局長に平井道則氏が選ばれた。準備委員会では鷲見尚武氏、馬淵旻修氏、川尻斉氏、水上精榮氏、山下直樹氏、山川直保氏、森喜人氏、上村強氏らを委員に選出し、事業計画や補助金事業の申請計画について議論した。さらに『鷲見氏・鷲見郷』関係の冊子を出版する事となり、編集委員に西脇清美氏、上村文隆氏、鷲見尚武氏、馬淵旻修氏、川尻斉氏、平井道則氏、福手均氏、山下直樹氏らを選出し、作業に入った。そして令和5年3月1日に無事発行する事が出来ました。ここに鷲見家31代目当主の鷲見尚武氏の「編集に携わって」の一文の一部を紹介します。



「(前略)、この度は、鷲見氏・鷲見郷 820 年を記念して『鷲見氏・鷲見郷一覽』の冊子が発刊の運びとなりました。我々の祖先である初代武蔵権守藤原朝臣(鷲見)頼保公を始め、その子孫がいかにしてこの鷲見郷(現・高鷲町)を領有し、治め、発展させ、今日に至ったかを一端なりとも解明すべく、先人の残した古文書・書物等を中心として史実を基に調査・研究を実施して頂きました。伝説(主に鷲見大鑑による鷲狩り伝説の記述)にも興味深い内容が含まれており、また、古文書等にも鷲見氏の各地での武将としての活躍が記されているところです。(後略)」

また、編集後記には次のように書いてありました。

この表紙のデザインはワケザンの高垣良平氏による

「今回の発刊に当たり、記載する古文書・古記録は本来の記述のままに記載しました。翻刻については、同じく間違いがあると思われる部分も修正しないで本来の記述を尊重しました。」とあり、編集の苦労が読み取れます。

なお、会員の皆様には、5月28日の令和五年度高鷲文化財保護協会総会で配布します。

お知らせ

高鷲文化財保護協会の総会は5月28日(日)午後1時半から行います。

総会終了後は、講演と開拓記念館の清掃活動を行います。

## 鷺見氏・鷺見郷一覽記念誌 完成市長報告会



市長と一緒に記念撮影



令和5年5月1日の午後三時に八幡町の郡上市役所市長応接室で、『鷺見氏・鷺見郷一覽記念誌』刊行の報告を行いました。高鷺文化財保護協会からは西脇清美会長、上村文隆氏、平井道則氏、福手均氏の四名が参加し、高鷺振興事務所から島野一郎所長と永瀬課長が引率されました。

西脇会長から「本書は、郡上市及び多くの方々のご協力によって刊行させる事が出来ました。有難うございました。」と御礼と今後にご支援をお願いされました。これに対し、日置市長からは、鷺見氏の事はよく理解した上で「本書は少し難しいので、今後一般の人が読んで分かる本を出して下さい。」とのご要望がありました。